

看護学概論	1 年・前期	2 単位	教授 及川 秀子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110531

1. 授業のねらい・概要

看護の本質や専門職としての看護とは何かを探究していくための基礎となる看護の概要について学習する。
看護は人間・健康・環境をどのようにとらえているか，時代を超えて大切にすべきことは何かについて考えると共に，看護の役割・機能について過去・現在の状況をふまえ，未来について展望する。

2. 到達目標

1. 看護の歴史や理論から看護の基本的な考え方が理解できる。
2. 看護の対象である人間の見方，考え方の多様性について理解できる。
3. 健康のとらえ方および保健医療統計による国民の健康状態が理解できる。
4. 職業としての看護の成り立ちと養成制度の特徴・課題が理解できる。
5. 倫理の基本原則を学び，臨地における倫理的ジレンマについて考えることができる。
6. 看護サービス提供の場と看護をめぐる制度・政策について理解することができる。
7. 医療安全と医療の質保証に関する概要が理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心とするが，適宜グループワーク・発表などを取り入れる。

4. 授業計画

1. 看護の原点・本質	9. 看護職養成制度に関する課題
2. 看護の役割と機能	10. 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理
3. 人間の「こころ」と「からだ」	11. 看護実践における倫理問題への取り組み
4. 生涯発達し続ける存在としての人間	12. サービスとしての看護
5. 人間の「暮らし」の理解	13. 看護サービスの管理
6. 健康のとらえ方，国民の健康の全体像	14. 医療安全と医療の質保証
7. 現代の日本人の健康と生活を考える	15. 看護の現在の状況と未来への展望
8. 職業としての看護	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 70%，ミニテスト 10%，課題発表 10%，授業態度 10%により総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

- ・茂野香おる，系統看護学講座 看護学概論 医学書院
- ・フローレンス・ナイチンゲール，湯槇ます他訳，看護覚え書き，現代社
- ・ヴァージニア・ヘンダーソン，湯槇ます訳，看護の基本となるもの 日本看護協会出版会

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画の範囲について最低 1 時間の予習および授業内容の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

看護体験実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求めることもある。試験については実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。